



マニラから南東、車で4時間のケソン州にある発電所に宿泊出張した。
この間、宿泊した発電所のゲストハウス施設内で撮影した写真である。
椰子の木が海辺にそそり立つ姿は、いかにも南国らしい風景である。

太陽を遮らんばかりに広がる巨大な葉の根元には、たわわにその実を結ばせる。
これが椰子の実、いわゆるココナツである。
その殻の内側には、白くてやわらかい層が固着し、食用となり、油の原料ともなる。
それでも、ココナツを一番身近に感じさせるのは、そのなかの液体、ココナツジュースである。
フィリピンでは、年間を通し、市場にも沿道にも、どこにでもココナツの山が築かれている。

ナタで頂部を落としてもらい、そこから直接、口に注ぎこむ。
それは、南国に来ている、という実感の一瞬でもある。

収穫は一本一本よじ登っての手作業であり、この画面からも、その苦労が想像できよう。
収穫しなければ、自然に、そして不意に、落下する。
この近くでボーっとしていて、死んだなんてのは様にならない、要注意。